

令和 7 年度第 1 回阪神水道企業団入札監視委員会議 議事概要

開催日及び場所	令和 7 年 7 月 3 0 日（水）：阪神水道企業団委員会室		
委 員	川 島 富士雄（神戸大学大学院法学研究科教授） 瀬 川 嘉 章（弁護士） 本 村 勲（公認会計士）		
対 象 期 間	令和 6 年 1 0 月 1 日から令和 7 年 3 月 3 1 日まで		
事務局報告			
審議事項 1 入札及び契約手続の運用状況等に係る報告等について			
対象案件の件数	5 2 件	対象期間中の一般競争入札における平均落札率	8 5 . 3 %
対象案件の契約金額合計	8, 585, 830 千円	対象期間中の指名停止件数	3 件
対象案件：対象期間中に契約締結した契約予定金額 250 万円超の工事、業務委託及び物品売買			
審議事項 2 抽出した工事の入札及び契約手続に係る審議について			
抽出案件の総数		4 件	
うち	一般競争入札	4 件	
	指名競争入札	0 件	
	随意契約	0 件	
審議事項 3 指名停止の状況について			
審議事項 4 談合情報への対応状況について			
委員からの質問・意見及びそれに対する回答	質問・意見	回 答	
	別紙のとおり	別紙のとおり	
委員会による意見の具申又は勧告の内容	無し		

No.	質 問・意 見	回 答
1	事務局報告 阪神水道企業団入札監視委員会制度の説明	
2	審議事項 1 入札及び契約手続の運用状況等に係る報告等について (令和6年10月1日から令和7年3月31日までの入札・契約状況)	
	・工事の一般競争入札27件のうち、15件で参加者数が1者となった理由は何か。	・このケースは設備工事で多い。点検整備は、本来作ったメーカーに依頼することから随意契約案件であるが、数年前に議会から競争した方が良いとの意見を頂いたため、一般競争に変えた経緯がある。しかし、実績として1者入札が続いていたので、点検整備については、令和7年度からは随意契約に戻している。別の取組として、現在DBM方式で25年契約したものもある。この場合、契約初年度に一覧表に表記されることとなる。
3	審議事項 2 抽出した案件の入札及び契約手続に係る審議について	
	(1) 一般競争入札	
	①大道取水場 特高受変電設備更新事業	
	・応札が1者にとどまった理由は何か。	・応札意思は3者あったが、結果として1者となった。
	・入札参加資格要件で実績がない企業は参加できないのではないか。この要件を付けることは一般的か。平成16年度以降の実績となっているが、一般的な取り扱いか。	・水道という非常に特殊な施設を扱うため経験のある企業に参加してもらうこととしている。要件を付けることで間口は狭くなるが、水の安定供給には必要である。受変電設備の更新時期が長いため、要件の実績期間も長めにとっている。

	<ul style="list-style-type: none"> ・本設備の更新は初めてか。入札参加資格要件は、特殊な要件設定にしているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本設備の更新は初めてである。また、企業団内の他の更新工事とは共同企業体結成の可否や実績工事として認定できる期間が異なっているが、おおむね同じような内容となっている。
	<ul style="list-style-type: none"> ・資格要件により参加者を狭めていないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・応札意思は3者であったので、資格要件で参加しにくくなったわけではなく、相手の都合により応札されなかったと考える。
	<ul style="list-style-type: none"> ・応札意思は3者あったにも関わらず、1者しか入札しなかった理由は何か。 	<ul style="list-style-type: none"> ・工期がタイトだったことと、万博開催等による建設業界の人手不足が顕著な時期とタイミングが合ってしまったことが主な要因であると考えている。
	②水管橋塗装工事（藻川）（週休2日制適用工事）	
	<ul style="list-style-type: none"> ・予定価格と最低制限価格の割合はどのように決めているのか。工事ごとにどのような差異があるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・設備工事は機器の割合が多く、計算式に主要機器の何割ということで算出しているが、水管橋の工事は機器費がほとんどなく、計算式は一緒であるが、人件費などの割合が異なるため、工事によって予定価格と最低制限価格の比率が異なる。 <p>最低制限価格制度について、次回委員会で報告させていただく。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・ランダム係数は使わないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・導入の可否については、他団体を調査した上で、慎重に検討していく。
	<ul style="list-style-type: none"> ・この案件だけを見ると、最低制限価格を下回った業者は、品質を保てないということになるのはどうかと思うが。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本案件で最低制限価格を下回った業者の中に、数年前、当企業団で同様の工事を受注し、問題なく完了した実績を有する者がいる。最低制限を下回っても、実質的に施工能力を有する者がいる場合はある。
	③猪名川浄水場 送配水ポンプ設備取替工事詳細設計業務委託	

	<ul style="list-style-type: none"> ・入札参加できる業者は、業務内容的にこの数しかいないのか。事前にこれぐらいの参加者しか集まらないだろうと想像できたのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・案件の内容と時期によってバラツキがでる。少ないイメージがあるが、致し方ないと思っている。
	<ul style="list-style-type: none"> ・資格要件設定時に外部の需給状況を考えて柔軟にフィードバックして取り込んでいくことは難しいのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1回目の入札からは難しいが、不調になったときには条件を緩和している。
	<ul style="list-style-type: none"> ・資格要件で「国、地方公共団体又はこれらに準ずる機関」と記載されているが、民間での実績はカウントできないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・案件によっては、民間でも入れるものはあるが、本案件ではきれいにした水を送るものであり、工事中の衛生管理というものも含まれるので難しい。
	④オンライン学習サービス一式	
	<ul style="list-style-type: none"> ・資格要件で、「国や地方自治体への納入実績があること。」と限定しているが、その理由は何か。 	<ul style="list-style-type: none"> ・調達仕様書に記載されている内容が実施可能かどうかであるため、「国や地方自治体への納入実績があること。」と限定する必要はなかった。
	<ul style="list-style-type: none"> ・オンライン学習サービスの調達は大手企業でないと駄目という考えか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大手3者に拘っているのではなく、調達仕様書に記載している内容が満たされるのであれば問題ないという考えである。
4	審議事項3 指名停止の対応状況について	
5	審議事項4 談合情報への対応状況について	
	<ul style="list-style-type: none"> ・談合情報はどうやって入手するのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・関係者からの告発があった場合を想定している。
	<ul style="list-style-type: none"> ・公益通報窓口は設定しているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度から制度を創設している。現在まで通報はない。
その他：委員長及び職務代理者の互選について <ul style="list-style-type: none"> ・委員長は川島富士雄委員、職務代理者は瀬川嘉章委員に決定した。 		